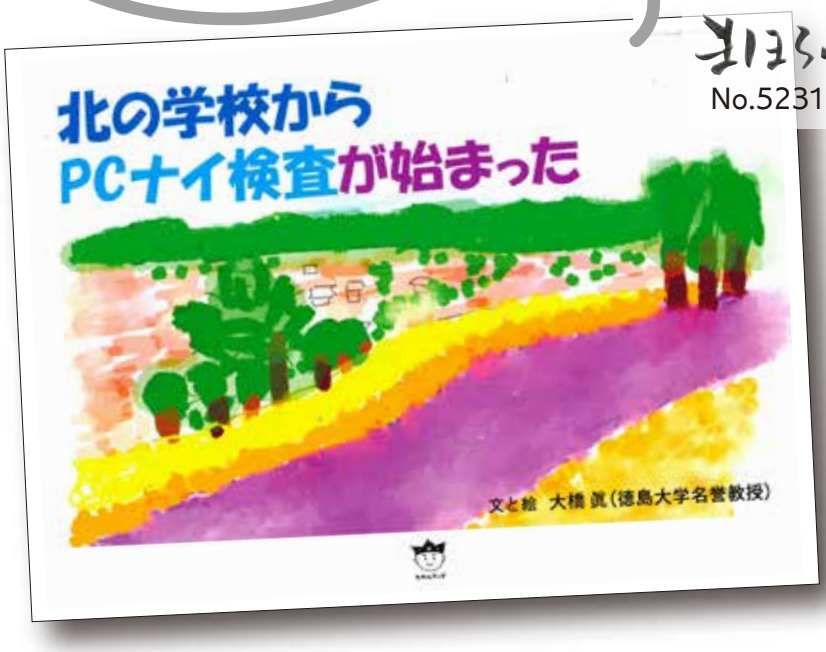
コロナの真実を描く絵本が出ました！

「コロナの真実」を果敢に訴えておられる徳島大学名誉教授の大橋眞先生が、なんと自ら絵と文を書かれた絵本です。
わかりやすく優しい語り口で、コロナの真実と PCR のからくりを解き、がんじがらめになった私たちの「恐怖心」という洗脳をほどいてくれます。本店カフェコーナーに置いていますので、ご興味のある方は是非ご一読ください。（本は一般書店やネットでご購入下さい。ヒカルランド発行：税込 2200 円）

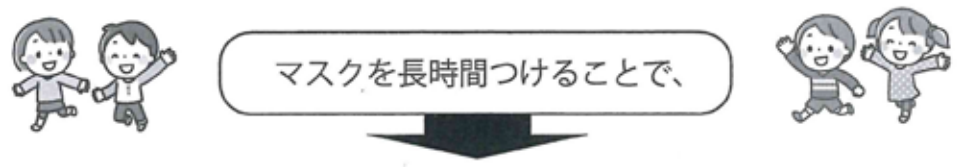


まほろばだより
No.5231 21-057 4/2

↓こちらのチラシはお客様よりお預かりしました。

子どもをマスクから解放しよう！

マスクはお子様の健全な心身の発達を妨（さまた）げます。



マスクを長時間つけることで、

- 呼吸の酸素濃度が低下し、知能の発達に影響が出る
- めまい、視力低下、集中力低下を引き起こす
- ウイルス性肺炎や、細菌性肺炎の温床になる
- 情緒不安定、免疫力低下、頭痛、皮膚疾患のリスク

大人にも同じ危険があります！

無症状者から感染させるというデータは無い。厚生労働省

無症状者から感染させるというデータは、あるのかと厚生労働省に電話で聞きました。
そのようなデータは厚生労働省において、ありませんという回答でした。
嘘だと思う方はご自分で電話してくださいね！　厚生労働省　03-5253-1111（代表）
メディアのウソに騙されないようにしましょう。

私たちは、新生活様式に反対です。

世界中で新型コロナウイルスの嘘の情報に抗議するデモが行われています。

QRコードから医師連盟の挨拶が見られます。

海外では 500 名を超える医師、科学者、弁護士が「世界医師連盟」として立ち上がりました。今後、30 箇所でデモが予定されています。

重要 そもそも新型コロナウイルスは、同定されていません！（存在が証明されていない）

↓札幌市教育委員会発行の、化学物質過敏症に対する啓発資料です。

化学物質過敏症の予防と香りのエチケット　～知って子どもたちを守りましょう～

札幌市教育委員会

化学物質過敏症とは？

一般的に大量の化学物質や薬品にさらされたり、微量であっても繰り返しあるいは長時間さらされたりして、ある時点から非常に微量の化学物質や薬品に過敏に反応して起こる健康障害と言われています。

反応を起こす化学物質や薬品の種類や量、起きる症状は、人によって様々です。一般に安全であると言われている濃度・質量以下にさらされることでも発症することがあり、**誰もが注意して**おく必要があります。

「知ること」がとても大事

■シックハウス症候群と化学物質過敏症

シックハウス症候群は、主に建材や塗料、家具類由来の揮発性有機化合物等の空気中濃度がある程度高くなって発症する健康障害です。一方で、化学物質過敏症は非常に低濃度でも発症すると言われています。また、シックハウス症候群を発症した後に、化学物質過敏症を続発することもあると言われています。

症状を誘発させないために、また症状が出た時には悪化を予防するために

- **●化学物質に接する機会を減らすようにすること**
- **●日ごろから換気するなど化学物質の空気中濃度を下げること**
- **●我慢しないで、症状が出ない場所に移動すること**

などが大事。

化学物質過敏症の一般的な症状

下記の症状は代表的な例です。様々な症状があり、個々で違います。

自律神経系症状 ▶	頭痛、めまい、疲れやすい、手足の冷え、微熱、発汗異常等
神経・精神症状 ▶	不眠などの睡眠障害、不安感、うつ状態、筋肉痛、関節痛、筋力低下、振戦、手足のしびれ、記憶力低下、集中力低下、意欲の低下等
気道症状 ▶	のど、鼻の痛み、鼻血、咳、息苦しさ等
消化器症状 ▶	吐き気、腹痛、下痢、便秘等
感覚器症状 ▶	目の刺激感、目の疲れ、ピントが合わない、鼻の刺激、味覚異常、音に敏感等
循環器症状 ▶	動悸、不整脈、胸部痛等
免疫症状 ▶	風邪をひきやすい、湿疹、じんましん、喘息等

化学物質過敏症は、化学物質に触れると、このような症状が出ます。時間がたってから出る場合もありますので、学校で元気に過ごしていても、学校で原因物質に触れ、帰宅後具合が悪くなることもあります。
症状が出るような環境では、学校生活が辛くなることがあります。

化学物質過敏症の原因となる可能性があるもの

原因となるものはさまざまです。また、例えば「インクは平気、ワックスは症状が出る」というように、化学物質すべてに反応するわけではありません。また、原因となるものが増える傾向があり、これまで反応しなかった物質でも症状が出るようになることがあります。

人によって原因物質が違います。これ以外にも原因となるものはたくさんあります。

■例えば、家庭から学校に持ち込まれるものとしては・・・

●柔軟剤　・洗濯洗剤　・香水　・化粧品　・シャンプー　・制汗剤
・たばこ　・芳香剤　・防虫剤　・香り付き文房具　・絵の具　・・・等

■例えば、学校では・・・

・消毒剤　・石けん、洗剤　・ワックス　・塗料
・教科書、印刷物のインク　※文部科学省で、化学物質過敏症の児童生徒に影響の少ない教科書を配布できるようにしています
・マーカー　・接着剤　・のり　・墨汁
・電子機器の可塑剤・難燃剤　・化学薬品　・・・など

一般に「良い香り」とされているものも、香りが強いと人によっては辛い臭いになることがあります。
ですから「香りのエチケット」を皆さんそれぞれが守っていきましょう。

Aさんから教育委員会に届いたお手紙から

柔軟剤の臭いで具合が悪くなることについて、学校に相談しているさなかに、自力での着替えや歩行ができなくなって、登校できなくなってしまった A さんから届いた手紙です。化学物質過敏症になって、大好きな学校に通えず、大好きな友達・先生に会えなくなって悲しかった経験と、多くの人に化学物質過敏症のことを知ってもらえたら友達と学校生活を楽しめていたかもしれないという思いから、以下のお願いがつづられています。

> 私は柔軟剤の香りで息苦しさや頭痛を感じるようになって、学校に通うことができなくなりました。良い香りが、私にとって辛くなってしまいました。好きな香りを否定されたように感じたら、本当にごめんなさい。
> みんなと一緒にいれた時がすごく楽しかったから、いつかみんなと会って話がしたいから、香りで具合が悪くなる人がいることを、たくさんの方に知ってほしいと思いました。香りについて皆さんが一緒に考えてくださると嬉しいです。

札幌市には、Aさんの他にも、化学物質過敏症や強い香りで困っている子どもがいます。

「もしかしたら化学物質過敏症かも」と、気づけるといいですね。

知ってください

- ●ほとんどの人が気づかない・気にならない臭いや、人によって「いい香り」と感じる香り、臭いがない物にも、反応します。
- ●ほとんどの人は反応しないので、反応してしまう人の辛さに気づけないことが多いのです。
- ●原因となるものから回避できたら症状もなくなり、通常の学校生活を送れます。

2021.2